



詩の朗読と
ピアノの演奏
1.17
メモリアルコンサート
竹下景子

天国に近い場所へ and he has gone 井上よう子



竹下景子

2009年1*17 OPEN 18:00
START 18:30 sat

会場：神戸新聞松方ホール TEL.078(362)7111

前売り ¥2500 当日 ¥3000 全席自由席

大震災から14回目の「1・17」が巡ってきました。いつもこの日は特別な日です。震災から学んだ安心、安全、平和の大切さ、人の絆、共に悲しむ心。あの時、感じたこと、学んだことに想いを致し、震災に限らない私たちの実際の体験から、どうしても伝えたいメッセージを「詩」に託して寄せていただきました。今年も竹下景子さんが詩を朗読され、林晶彦さんが音楽をよせピアノ演奏されることによって「詩」がより豊かに輝き、世界の人々に語りかけます。またゲストには神戸出身の世界的ギタリスト鈴木一郎さんをお迎えして、すばらしい演奏を披露していただきます。



林晶彦(作曲・ピアノ)



鈴木一郎(ギター)

林晶彦 ピアニスト・作曲家として世界各地で演奏活動を展開。このメモリアル・コンサートには最初から加わっており、癒しと祈りを表現する演奏は竹下景子さんの朗読とコラボレートしてこのコンサートを、より意義深いものとしています。

鈴木一郎 1948年神戸生れ。県立兵庫高等学校在学中から小原安正に、その後A・セゴビアに師事しバリのセロナとパリに居を置き、活動する。N響やゲバントハウス・オーケストラ等世界の一流オーケストラからソリストとして招聘され、多くのギター協奏曲を演奏。マクサンス・ラリュエ(フルート)、レオ・ブローウエル(ギター)、ウィクトリア・ロス・アンヘルス(ソプラノ)、ウィーン弦楽四重奏団等数々の著名演奏家と共演し、好評を博す。武漢、林光、平吉、観州や山下洋輔等から曲を捧げられる一方、スペインの音楽祭やバリのセロナ・ギターフェスティバルの音楽監督を長年務めた功績で、国王ホアン・カルロス1世から文化勲章を授与される。1996年には皇居に於いて御前で演奏する等、世界的に活躍している。阪神淡路大震災では家族が被災し、昨年神戸に拠点を据え、故郷の文化にも貢献している。

チケットの申し込み 神戸新聞松方ホール 078(362)7191 しみん基金こうべ 078(230)9774 兵庫県子ども文化振興協会 078(241)5102 ギャラリー島田 078(262)8058

お取り扱い口座 郵便振替口座番号：00960-2-296713 口座名義：ぼたんの会実行委員会

主催：ぼたんの会実行委員会 / 復興支援コンサート実行委員会 協力：(財)神戸新聞文化財団 後援：神戸市 / 神戸市教育委員会 / 兵庫県芸術文化財団 協賛：SEKISUI HOUSE / santica / 株式会社フェリシモ

*ぼたんの会実行委員会(代表 黒田裕子)は、阪神・淡路大震災のあと生まれたNGO/NPO 14団体によって構成され、この会の収益はそうした活動に寄付されます。